

平成 24 年度動物愛護週間中央行事実施結果

1 動物愛護週間中央行事への参加

動物愛護週間は、広く国民の間に、命ある動物の愛護と適正な飼養について理解と関心を深めるために設けられているもので、国及び地方公共団体はその趣旨にふさわしい行事が実施されるように努めなければならないことが「動物の愛護及び管理に関する法律」の第4条に定められている。

本年についても、本会が実施する獣医事対策等普及啓発活動事業の一環として、東京都内で開催された「動物愛護週間中央行事」に、国及び東京都、台東区並びに動物愛護団体等で構成する中央行事実行委員会に主催者構成団体として参画した。

2 平成 24 年度動物愛護週間中央行事の実施結果

平成 24 年度動物愛護週間中央行事は、屋外行事：9 月 15 日(土)東京・台東区立隅田公園及び隅田公園リバーサイドギャラリー、屋内行事：29 日(土)東京・国立博物館 平成館 大講堂で開催された。

【スローガン】 「いのち輝け 人と動物の愛の輪で」

【キーワード】 “ 見つめ直して、人と動物の絆 ”

(1) 9 月 15 日(土) 午前 11 時～午後 4 時 屋外行事

本年度の会場は、これまで長年実施してきた上野公園が全国都市緑化フェアのため使用できず、浅草の台東区立隅田公園及び隅田公園リバーサイドギャラリーにて開催したことから、例年とは若干変更した形で実施された一面もあった。

公園の屋外広場では、動物愛護セレモニーを開催したほか、ブース出展社によるペットフード等のサンプリングや犬のしつけ方相談コーナー等の催しが行われた。

多くのブース展示は、公園の地下にあるリバーサイドギャラリー及びその出入口付近で展開された。ギャラリー内のブース配置は、動物を飼育する「入口」から「出口」をイメージし、動物を家族に迎えるときからお別れまでとして、譲渡斡旋、改正動物愛護管理法政省令とペットショップとのかかわり、動物と暮らす上でのルールとマナー、高齢動物の適正飼養、災害対策等の各ブース展示が行われた。(来場者：2,000 名以上)

本会は、実行委員会構成団体として、事前の各種会議に参画するとともに、動物愛護セレモニーでは、矢ヶ崎 忠夫 専務理事が動物愛護宣言を行った。

また、ブース展示では、環境省の災害対策コーナーと連携し『マイクロチップによる個体識別措置事業の展示』を実施し、災害時の有効性についてもアピールした。



リバーサイドギャラリーへの入口



動物愛護宣言を行う矢ヶ崎忠夫専務理事



マイクロチップコーナーでの展示と普及啓発用の着ぐるみ

図1 平成24年度動物愛護週間中央行事（屋外行事の様子）

（2）9月29日（土）午後1時～同4時半 屋内行事

屋内行事は、東京国立博物館 平成館講堂にて、以下の2部構成で実施された。

先ず、環境省並びに動物愛護4団体による各表彰式が行われた。本会は、「第24回日本動物児童文学賞表彰式」を実施した。

続いて、動物愛護シンポジウムを“見つめ直して、人と動物の絆～人も動物も幸せに暮らせる社会に向かって～”をテーマとして実施した。

講演1の「東日本大震災被災地の現状～災害が起きても一緒に暮らせるように～」では、被災地における災害時の動物救護活動や、震災に備えた飼い主の準備についてを、講演2の「人も動物も幸せになれるルール作り」では、動物のライフステージに合わせた付き合い方・世話の仕方等について講演が行われた。（参加者：297名）

〔第24回日本動物児童文学賞表彰式〕

本年度大賞受賞者である沖 義裕氏には、伊藤 哲夫 環境省自然環境局長から環境大臣賞、矢ヶ崎 忠夫 本会専務理事から日本動物児童文学大賞、宮道 圭介 株式会社損害保険ジャパン営業開発第二部第二課長から副賞が授与された。

また、優秀賞受賞者である高森 美由紀氏には、矢ヶ崎 忠夫 本会専務理事から日本動物児童文学優秀賞と、磯部 大樹 アニコムホールディングス株式会社経営企画部課長から副賞が授与された。

なお、もう一人の優秀賞受賞者である叶 昌彦氏は、都合がつかず欠席であった。



図2 第24回日本動物児童文学賞表彰式での受賞者とプレゼンターの記念撮影

【日本動物児童文学大賞】

「里山のシカ」 沖 義裕（茨城県）

【日本動物児童文学優秀賞】

「エリー、いっしょに歩き出そう」 高森 美由紀（青森県）

「ミーコの午後」 叶 昌彦（千葉県）

〔動物愛護シンポジウム〕

「見つめ直して、人と動物の絆 ～人も動物も幸せに暮らせる社会に向かって～」

【講演1】 「東日本大震災被災地の現状～災害が起きても一緒に暮らせるように～」

「東日本大震災における岩手県の動物救護活動」

多田 洋悦 氏（社団法人 岩手県獣医師会 会長）

「東日本大震災における仙台市の現地状況と動物救護活動」

亀田由香利 氏（仙台市動物管理センター 主幹）

【報告】 「東日本大震災における動物保護活動報告（福島）」

環境省 自然環境局 総務課 動物愛護管理室

【講演2】 「人も動物も幸せになれるルール作り」

水越 美奈 氏（日本獣医生命科学大学 獣医学部 講師）